

# ～家族のこちよい暮らしを学ぶために～

## キッチン 『台所』からより良い明日を

社会の変化には、著しいものがあります。社会環境も生活環境も、日々、変化の速度を早めており、暮らし方ひとつをとってみても、わずか数十年前のことがすっかり過去の世界となっています。

サンウエーブは、キッチンメーカーとして、『台所』という空間から、日本の家庭生活の在り方を見つめ続けてきました。

『台所』から始まる“食べる”という行為は生命維持の根源であり、家族はもとより、人ととのコミュニケーションを培い、他と共に生きることを実感する不变的な基盤でもあります。

『台所』は、社会的進歩と同時に、少しずつ失われてきた“人の関わり”を、日常の中から次世代へ伝えていくことができる最適な「場」ではないでしょうか。

私たち『サンウエーブリフォームショップ R&B』は長年培ってきたノウハウで、『台所』の価値を深め、人と地球のしあわせに貢献できるよう、皆さまのお近くのリフォームの窓口として、一人一人のライフスタイルに合った様々な提案をしてまいります。

●サンウエーブリフォームショップ R&B <http://www.swrb.jp/>

●携帯サイト <http://www.swrb.jp/mobile/>



R&B サンウエーブ  
リフォームショップ

サンウエーブが認定する meet happiness を第一に、  
キッチンリフォームを考えていくプロフェッショナル集団です。

## 第1学年 学級活動学習指導案

### 「うちごの手伝いについて考えよう」

## 第4学年 学級活動学習指導案

### 「楽しい食事をくふうしよう」

## 第6学年 学級活動学習指導案

### 「バランスのよい食事について考えよう」



NPO 法人 日本持続発展教育推進フォーラム理事長

**有馬 朗人** (元文部大臣・元東京大学総長)

「地球的視野で考え、様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組み、持続可能な社会づくりの担い手となる」ような人材を育成することが、持続発展教育（ESD）のねらいです。

そのためには、自律心、判断力や責任感などの人間性をはぐくむこと、また、人は他人、社会、自然環境などの関係性の中で生きており、「かかわり」「つながり」を尊重する人間を育てることが求められています。

本教材は、「台所」を題材に、家族とのつながり、自分の役割を考えさせることを目的に制作されています。

いうまでもなく、家族は人間関係の基本です。家族との関係から、人とのかかわり方、コミュニケーション力、共に生きていこうとする心などを子どもたちは学んでいきます。

本教材を通して、子どもたちが「かかわり」「つながり」の基礎基本を学んでくれることを念願します。

東京家政学院大学家政学部児童学科教授

**長谷 徹**

台所にあるものの教材を手にしたとき、子どもたちの想像の世界は広がっていきます。お皿一枚取ってみるだけで、子どもたちは物語を語り始めます。想像から創造の世界へ入っていきます。そこに野菜が一つ加わるだけで、子どもたちの物語は自然と発展していきます。

自由に教材をいじりながら、空想の世界で遊ばせてみましょう。家族をどのようにかかわらせていくか、お手伝いということに気付くかもしれません。食事の始まり（準備）から食事の終わり（片付け）までの物語が、自然と子どもたちの口から発せられてきます。グループで活動させれば、グループで様々な場面を構成し、物語を発展させていきます。

そうした活動の中から、例えば「家族の中での自分の役割」を自覚させたり、「お手伝い」について考えさせたりすることができます。

「栄養」についても考えさせることができます。いろいろな学習に発展させていく教材です。指導者の創造性も刺激されます。



写真提供：(株) 教育新聞社